

環境に係る情報協議会

国営かんがい排水事業 大原二期地区

1. 環境に対する考え方

(「洞爺湖町田園環境整備マスタープラン」及び「豊浦町田園環境整備マスタープラン」から)

《農村環境の現状と課題》

【現状】

- ◎洞爺湖町 ・洞爺湖と有珠山と噴火湾に囲まれた自然豊かなまちであり、これらの 自然環境はくらしにゆとりを与えるとともに大気や水質の浄化作用を持ち、多様な生物の生息地となっている。
- ◎豊浦町 ・南は内浦湾(噴火湾)に面し、対岸に秀峰駒ヶ岳をはじめ、渡島連山を眺望する。
・地勢は概ね傾斜地をなし、一部山岳地帯を除き、農耕地、牧野などの 生産緑地帯を形成している。

【課題】

- ◎洞爺湖町 ・自然環境の保全に向け、環境への負荷を配慮した適切な利用、管理に努めていく必要がある。
- ◎豊浦町 ・環境サミット開催地として森林資源、重要な植生や景勝地等優れた自然環境の保護・保全。
・クリーン農業、有機農業など環境に配慮した農業の推進。

《環境保全の基本的考え方》

- ◎洞爺湖町 ・環境、景観保全を基調とした土地利用を推進する。
・食による魅力づくりを推進し、自然エネルギーを活用した高付加価値 化の農業を推進する。
・農、水産業の生活環境の充実を推進する。
- ◎豊浦町 ・海と緑、豊かな自然に囲まれた美しい環境の実現。
・自然環境と調和した活気に満ちあふれた生産活動の推進。
・環境への負荷の少ない環境調和型農業の実現。

2. 環境配慮のための環境調査

《基本方針》

【調査位置の考え方】

本地区の環境は以下の区域に分けられることから、各区域において動植物の生息等に関する現地調査を行い、本事業における環境配慮対策検討の基礎とする。

- ・山地に囲まれたエリア(頭首工改修地点)
- ・平坦な畑エリア(用水路改修地点)

《環境調査内容》

- | | |
|-------|---|
| ○調査項目 | ①哺乳類 ②鳥類 ③魚類 ④両生・は虫類
⑤昆虫類 ⑥底生動物 ⑦植物 ⑧水質 |
| ○調査方法 | 哺乳類 : フィールドサイン法、目撃法
鳥類 : ラインセンサス法、ポイントセンサス法
魚類 : 採捕調査
両生・は虫類 : 目撃法
昆虫類 : 任意採集法、ベイトトラップ法
底生動物 : 定性採集法
植物 : 植物相調査
水質 : 濁度、SS |